

三菱バリフォーカルレンズ C-3V2R9F8NIR 取扱説明書 三菱電機株式会社

このたびは、三菱バリフォーカルレンズ C-3V2R9F8NIR をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

1. レンズを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意してお使い下さい。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに
結びつく可能性があるもの








注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの
損害に結びつく可能性があるもの



禁止事項を示すマーク

 警告	
	レンズ単体を通し、目で直接太陽を見ないで ください。失明の原因になります。
	万一、煙が出る、臭いがする状態でそのまま 使用すると火災の原因となります。 すぐにレンズケーブルをカメラから外すか カメラの電源をお切りください。

 注意	
	レンズをカメラから外した状態で、直接日光 の当たる場所に置かないでください。火災の 原因になることがあります。

2. 概要

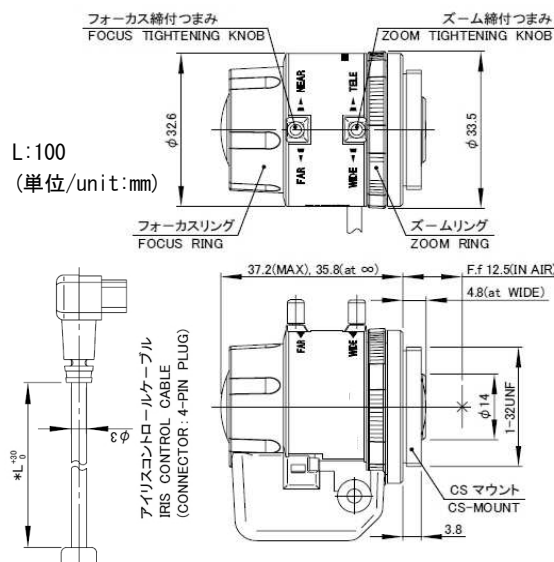
このレンズはCSマウントを備えた三菱電機 CCTV カメラ用自動絞り付きバリフォーカルレンズです。
可視光と近赤外光で焦点を極力抑えていますのでカラー白黒切換カメラにも対応できます。

3. 取扱上の注意

レンズ面に付いたゴミや汚れは、ブロアーで吹き飛ばすか柔らかい刷毛で取り除く程度にし、指を触れないようにしてください。レンズ面に指紋や油が付いたときは、市販のレンズクリーニングペーパーや、よく洗った木綿の布にレンズクリーニング液をしみこませて、レンズ面の中心から軽く拭き取ってください。
ボディ部はシリコンクロスなどで拭き、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用は絶対に避けてください。また、シリコンクロスではレンズ面を拭かないでください。
ホコリ、有害ガス、塩分などがレンズにかからないようにしてください。
レンズは精密な光学機械ですので、落下・強い振動・衝撃・圧力などを加えないでください。

4. 各部の名称と働き

- ・ズームリング
ズームリングを回すと遠くの被写体を大きく写せる望遠側 (TELE) から広い範囲を写せる広角側 (WIDE) まで画角が変化します。
- ・ズーム締付つまみ
ズームレンズを回す場合は、つまみをゆるめてください。
ズーム調整後、ズームリングを固定します。
- ・フォーカスリング
フォーカスリングを回すと無限遠 (FAR) から至近 (NEAR) の範囲でピントを合わせることが出来ます。
- ・フォーカス締付つまみ
フォーカスリングを回す場合は、つまみをゆるめてください。
フォーカス調整後、フォーカスリングを固定します。
- ・CSマウント
カメラマウントにねじ込み、レンズをカメラに固定します。
- ・アイリスコントロールケーブル
レンズの自動絞り (アイリス) 制御ケーブルです。
カメラのレンズコネクタに接続します。



5. カメラへの取付方法

- ①カメラマウントにレンズマウントを合わせ、時計方向に回してください。
※レンズ内部のストッパーにより時計方向に回転できなくなりましたら、それ以上回転させないでください。
- ②レンズを反時計方向に回転させ、レンズケーブルの位置を調整してください。
- ③ケーブルのコネクタを、カメラのレンズ用コネクタ（4P）に接続してください。
- ④ズームリングを回し、希望の画角に調整します。
- ⑤フォーカスリングを回し、ピントを調整します。

6. 絞り（アイリス）調整

本レンズはDC アイリス方式の自動絞りレンズです。レンズにはアイリスレベルの調整機能はありませんので映像が暗すぎる、もしくは明るすぎる場合はご使用のカメラの取扱説明書をご覧ください。

7. バックフォーカス調整

本レンズはCS マウントカメラにあわせて調整されていますが、ピントがあわない場合はカメラの取扱説明書を参照し、下記の要領でバックフォーカスを調整してください。

- ①なるべく遠い被写体（10m 以上を推奨）を映し、レンズの絞りを開放状態としてください（絞った状態で調整を行うと被写体の明暗によってピントがずれる場合があります）。

絞りを開放状態にするには以下の方法があります。
カメラの電子シャッターを高速にする（電子シャッターの設定はカメラの取扱説明書をご覧ください）。
レンズ前面に市販のND フィルタ（減光フィルタ）を装着する。
暗いところの被写体を映す、もしくは周囲が暗くなってから映す。

- ②ズームリングを TELE 端、フォーカスリングを FAR 端にしてカメラのバックフォーカス調整でピントをあわせませす。
- ③ズームリングを WIDE 端にしてフォーカスリング回してピントをあわせませす。このとき、ピントがあわない場合はカメラのバックフォーカスを再調整しピントをあわせませす。
- ④ズーム領域においてフォーカスリングを回すことでピントがあうことを確認します。

8. 仕様

形名	C-3V2R9F8N1R
焦点距離	2.9mm ~ 8mm
最大口径比	1 : 0.95
絞り範囲	F0.95 ~ T360 (F360 に相当)
画角	水平 : 94° 37' ~ 35° 18' 垂直 : 69° 30' ~ 26° 26'
画角寸法	φ6mm (4.8mm×3.6mm)
フォーカス範囲	∞ ~ 0.3m
マウント	CS マウント
アイリス制御	DC アイリス方式
自動絞り 制御コイル	500Ω ±10%
自動絞り 駆動コイル	190Ω ±10%
コネクタ	角型 4P コネクタ (JEITA RC-5204 準拠)
絞り込み機能	電源断時には絞り込み機能により撮像素子を強い光から保護します。
周囲温度	-10°C ~ +50°C
質量	約 45g